

新横浜少年野球場、樽町グラウンド ローカルルールについて

■新横浜少年野球場

【共通ルール】

- ①ボールデッドラインを引かない場所は原則フリーとする。(A面、B面のベンチラインは必ず引く)
- ②投手の牽制球が暴投となりボールデッドラインを越えた場合、投手板を外したか否かを問わず全てテイク 1 とする。(外野後方の縁石・側溝を越えた場合を含む)
- ③複合バット及びブラックキャノン、カタリストの類の高反発バットの使用は禁止する。
- ④球がグラウンド周辺の張り出している木に触れた時点でボールデッドとしファールボールとする。
(A面ライト後方を除く)
- ⑤高架線に球が当たった場合、プレーは継続とし球が落ちた地点によりフェアかファールかをジャッジする。
- ⑥本塁打は、球がレフト、センター、ライト後方のフェンスを直接越えた場合とする。

【本面】

球がレフトからセンター後方の縁石・側溝を越えた場合、第一試合前にボールデッドとしテイク 2 とするかフリーとするか決定し、当日は同一ルールとする。(縁石跳ね返りはフリー)

※球が縁石・側溝を越えた原因が投球の場合は占有塁から、野手の送球の場合は野手の手を離れた時点での占有塁からテイク 2 とする。(A面、B面も同様)

【A面】

- ①球がレフト後方の縁石、側溝を越えた時点でボールデッドとしテイク 2 とする。

(縁石跳ね返りはフリー)

- ②球がライト後方のフェンス前の張り出している木に当たりグラウンドに跳ね返った場合、張り出した木が無かったらフェンスを越えていたと審判が判断した場合は本塁打する。

【B面】

球がセンターからライト後方の縁石、側溝を越えた時点でボールデッドとしテイク 2 とする。

(縁石跳ね返りはフリー)



■樽町グラウンド B 面

- ①本塁打はセンターからレフト後方の仮設フェンスを球が直接越えた場合とセンターからライト後方の土手の上部を越えた場合とする。
- ②既設フェンスを直接もしくはバウンドで越えた場合はボールデッドとしテイク 2 とする。
- ③複合バット及びブラックキャノン、カタリストの類の高反発バットの使用は禁止する。

